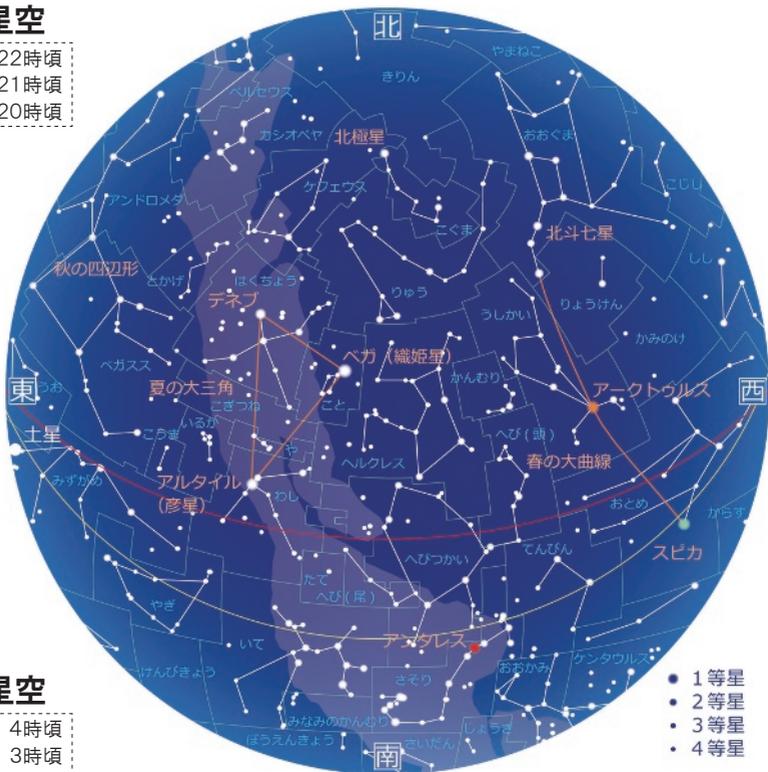


星空ガイド 7月16日～8月15日

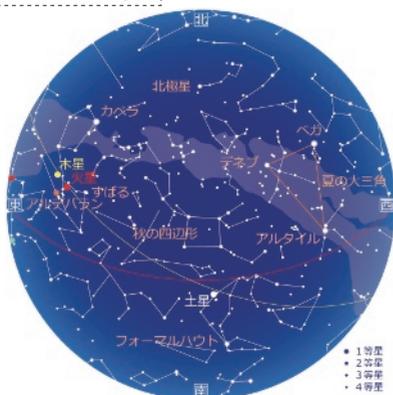
よいの星空

7月16日22時頃
8月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

7月16日 4時頃
8月1日 3時頃
15日 2時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
7	16	火	4:56	19:11	14:27	0:03	10.2
	21	日	5:00	19:08	19:26	4:08	15.2
	26	金	5:03	19:05	22:14	10:08	20.2
8	1	木	5:08	19:00	1:26	16:53	26.2
	6	火	5:11	18:55	6:32	20:05	1.7
	11	日	5:15	18:50	11:15	22:03	6.7
	15	木	5:18	18:46	15:22	--:--	10.7

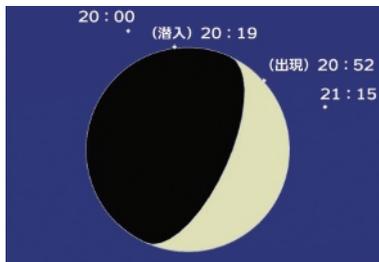
※惑星は2024年8月1日の位置です。

スピカ食

8月10日の20時19分から20時52分にかけて、上弦前のやや細い月がスピカを隠す「スピカ食」を観察することができます。

今回のスピカ食ではスピカが月に隠されるとき(潜入)の見え方に注目です。じわじわと月と重なって惑星が欠けていくように見える惑星食と異なり、明るいスピカが突然消えてしまうように見えます。潜入時は、月の暗い部分とスピカが重なるため、肉眼でもその様子を充分に楽しむことができるでしょう。

逆のスピカが月から出てくるとき(出現)も突然スピカが見えるようになりそうですが、今回は月の明るい部分からスピカが現れるので、肉眼での観察だと出現の様子がわかりにくいかもしれません。双眼鏡や望遠鏡があれば使用して観察するのがおすすめです。



大阪市北区から見たスピカ食の様子

ペルセウス座流星群

ペルセウス座流星群が8月12日23時ごろに極大を迎えます。日没後しばらくは上弦の月が見えていますが、大阪では22時33分頃に月没となるので、12日深夜から13日未明が観測の好機となるでしょう。今年は条件が良いので、街明かりの少ない星がよく見えるところであれば月没後から未明にかけて1時間に50個程度、住宅街でも1時間に10個程度の流星が期待できそうです。

ペルセウス座流星群の流星は、ペルセウス座にある放射点から飛び出すようにして様々な方向に流れて見えます。なので放射点をじっと見つめるよりも、広く空を見わたすように観察するのがおすすめです。

野村 美月(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
7	19	金	土用の入
	20	土	変光星はくちょう座X(3.3~14.2等)の極大
	21	日	○満月(19時)
	22	月	大暑 水星が東方最大離角
	25	木	土星食(6時25分52秒潜入~7時21分51秒出現)
	28	日	●下弦(12時)
	29	月	みずがめ座δ流星群が極大

月	日	曜	主な天文現象など
8	4	日	●新月(20時)
	5	月	夕方に月と金星がならぶ
	7	水	立秋
	10	土	旧七夕 スピカ食(20時19分潜入~20時52分出現)
	12	月	ペルセウス座流星群が極大(23時)
	13	火	●上弦(0時)
	14	水	木星と火星が接近